



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャムコ
 代表者名 代表取締役社長 大喜多 治年
 (コード番号 7408 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 IR 担当 後藤 健太郎
 (TEL. 042-503-9145)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 8 日に公表した第 2 四半期（累計）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）
 （単位：百万円）

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|--------|-------|-------|--------------------------|------------------|
| 前回発表予想（A） | 40,300 | 1,550 | 1,400 | 930 | 34 円 66 銭 |
| 今回修正予想（B） | 40,300 | 2,150 | 2,390 | 1,430 | 53 円 30 銭 |
| 増減額（B－A） | 0 | 600 | 990 | 500 | |
| 増減率 | 0.0% | 38.7% | 70.7% | 53.8% | |
| （ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 30 年 3 月期第 2 四半期） | 38,043 | 1,906 | 1,873 | 1,034 | 38 円 57 銭 |

2. 修正の理由

売上高は、当第 2 四半期連結累計期間における為替相場が今期の計画上の想定為替レート 105 円／米ドルに対して円安で推移したことによる増加や航空機内装品等製造関連のスペアパーツ販売の増加などがありましたが、航空機シート等製造関連の一部工事の出荷が第 3 四半期以降に繰り延べられたことなどによる減少もあり、前回予想から修正はない見込みです。

営業利益は、一部プログラムで初期コスト増加などにより工事損失引当金を追加計上したことによる原価増がありましたが、円安の影響やスペアパーツ販売の増加などによる売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の減少などにより増加する見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加に加えて、営業外収益として為替差益を計上することなどにより増加する見込みです。

なお、平成 31 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、業績予想の前提となる第 3 四半期以降の為替レートを 105 円／米ドルから変更しておらず、外貨建売上高、工事損失引当金の採算見積り及び為替差損の影響が見込まれるため、平成 30 年 5 月 8 日に発表した通期連結業績予想から変更はありません。

※ 上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上